カイロ旧市街の持続可能な保護策のための 事業/住民参加のまちづくり

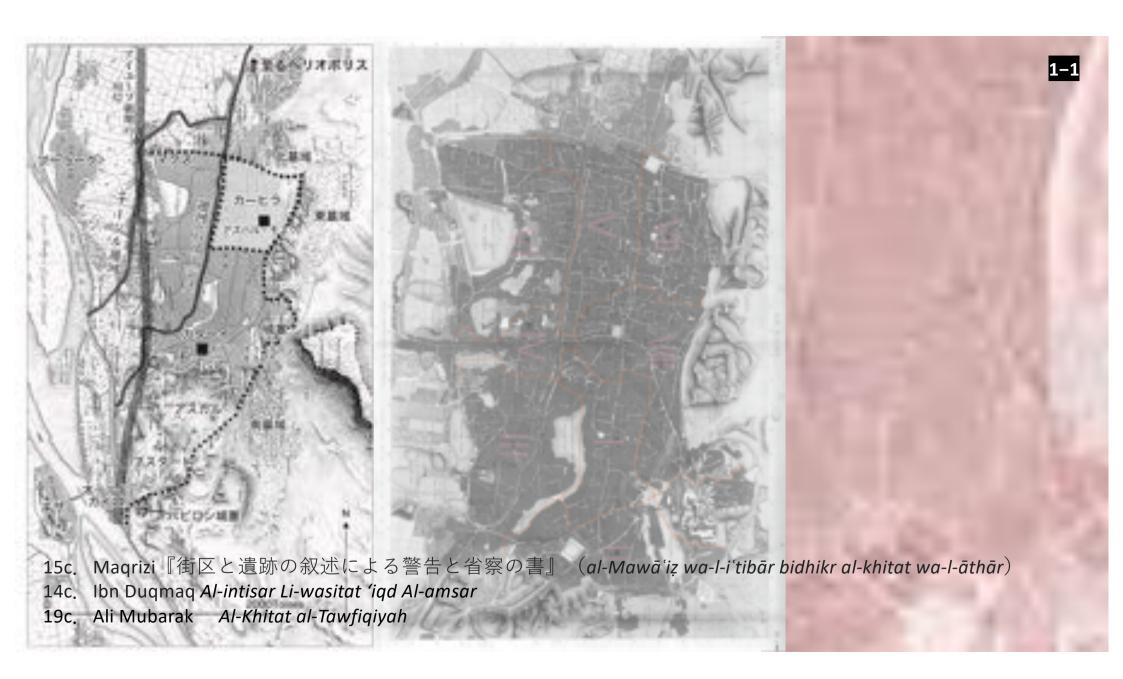
令和3年度緊急的文化遺産保護国際貢献事業(専門家交流)実施委託業務

深見奈緒子 日本学術振興会カイロ研究連絡センター

一般社団法人日本建築まちづくり適正支援機構 代表理事・連 健夫

話題

- 1. 申請の経緯
- 2. 事業計画概要
- 3. 10月からの経緯
- 4. 現状
- 5. 文化遺産 (歴史都市) を保全する→世界/国/住民



カイロ旧市街保全と日本人関与プロジェクト

1881 Comite

1979 カイロ旧市街世界遺産登録 UNESCO, UNDP, USAID, EU, Bohra Mission

1984-2001 The Aga Khan Trust for Culture in Cairo / the Historic Cities Support Program (HCCP) アガ・ハーン・プロジェクト

1992 カイロ地震

1998 Historic Cairo Restoration Project (HCRP)

2010-2014 Urban Regeneration for Historic Cairo(URHC)、カイロ市当局に歴史地区カイロを担当する部署を設置

2015年4月 日本学術振興会カイロ研究連絡センター着任

2015年9月 トヨタ財団応募 2016年5月~2018年4月 「歴史的カイロにおいて歴史的建造物と伝統的居住様式を軸とし

て持続的コミュニティを考える」Alaa Habshi

2018年1月 第30回西アジア分科会トヨタ財団助成カイロプロジェクトについて報告者:原田怜(東京藝術大学)

2018年 大林財団 2018年4月~2019年3月「カイロ歴史地区の遺産保全と都市史再考し

2019年2月 国際交流基金による木工細工職人の招聘と現地ワークショップ

2019年3月 草の根無償資金協力事業による木工職人訓練所設置

2021年10月 カイロ旧市街の持続可能な保護策のための事業/住民参加のまちづくり

1-3

エジプトの近現代史

ムハンマド・アリー朝

1952年 エジプト革命

1953年 王政廃止

1954年 ナーセル大統領

1970年 サダト大統領

1981年 ムバーラク大統領

2011年1月 アラブの春、エジプト革命、ムバーラク大統領辞任

2012年6月 ムルシー政権誕生

2013年7月 エジプト・クーデター、ムルシー大統領解任

2014年6月 シーシー大統領就任

近年 道路建設(死者の町)、インフォーマル住居を撤去して新住宅地の建設



https://www.efe.com/efe/english/destacada/dead-living-evicted-as-tombs-expropriated-to-build-highway-in-historic-cairo/50000261-4305910



https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_mo narchs_of_the_Muhammad_Ali_dynasty











https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_presidents_of_Egypt

that degradation of the urban fabric has increased and in places appears to have accelerated; that the overall historic urban fabric is suffering more than individual protected monuments; and that neglect and lack of maintenance is leading to deterioration beyond affordable rehabilitation, or in places the total collapse of some structures;

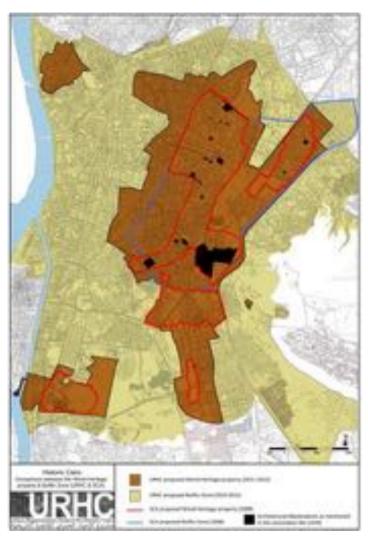
Further notes that this situation has been exacerbated by the continuing approval of demolition permits for protected/registered buildings that could be considered unstable, and the continuing lack of protection of unregistered structures, and that the accumulated demolition of buildings is beginning to have a highly adverse impact on the urban fabric;

Expresses concern about the recently reported construction of a road, which has led to the demolition of many tombs and mausolea in the Southern and Northern cemeteries, known as the 'City of the Dead', and which could have a major impact on the historic urban fabric of these parts of the property and channel more traffic into the city;

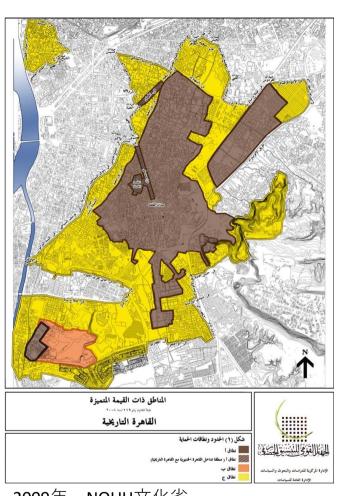
https://whc.unesco.org/en/soc/4070/

公的関与機関→縦割り

- The Ministry of Tourism and Antiquities→指定建造物だけに関与、修復後の活用なし、建物の周りの鉄柵、
 Haram al-Athar (周辺のクリアランス)、指定の制限、
- ・ National Organisation for Urban Harmony (NOUH) 文化省→建物のファサードのみに焦点を当てる、都市景観
- The Cairo Governorate →大きな母体の中の部門、専門性の低さ
- The Municipality
- The General Organization for Physical Planning国の計画部門
- The Local Popular Councils 地方議会
- The Ministry of Religious Endowments (Awqaf) →歴史都市カイロの土地所有者、旧市街の半分以上の土地



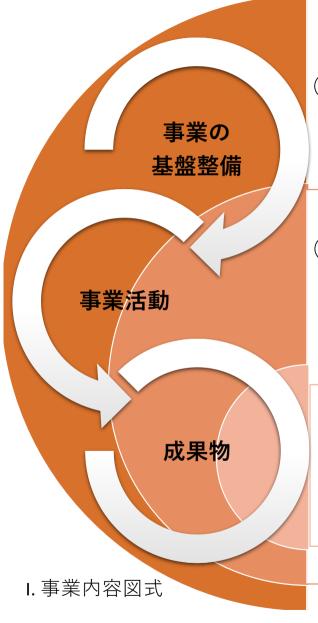
2008年SCA 現在の観光考古省赤線コアゾーン青線バッファーゾン



2009年NOUH文化省茶色Zone AOrangeZone B黄色Zone C



2013年**1**月 URHC による提案



①施策の検討

- a.<u>歴史的建造物のリスト化</u>;在カイロ日本人、エジプト人 **2–1** チームが、学生アルバイトを使って悉皆的に実施
- b. 増改築新築に対する**建築基準の立案**;②-aワークショップ で素案を検討し、エジプト行政側とともに文章化する
- c. 住民参加方法の検討;モデル地区において、既存のネット ワークを用いて素案を練り②-bを実施、行政側と共有する
- ②意見交換および 研修の実施
- a.①-aを基盤に**行政側へのワークショップ**を行い、日本側が素案 を提示し、①-bを検討・作成
- b. ①-cのための地元の**住民と行政側の対話集会**、モデル地区以外 のヒストリックカイロの住民も対象とする
- c. ①のリスト、建築基準、住民参加に則した**行政実務者の研修**; World Monuments Fundとの共催、Facilitator養成
- ③手引き等の作成 と配布
- a.①で検討したリスト(a)と建築基準(b)を簡易な形で**アラビ ア語化した手引きの作成**、地図・図面・写真・スケッチ など図版や事例を多く含んだものを想定
- b.各省庁の関係職員、および地域住民に**配布**

Ⅲ. 事業参加者図式

日本からの参加者:講師として訪埃・オンライン会議

連健夫(申請代表者)、磯野哲郎 (IDCJ)、岡田保良(国士舘大学)、布野修司(日本大学)、 荒牧澄多(川越のまちづくりNPO役員)、宍戸克実(鹿児島県立短大)

World Monuments Fund

Pablo Longoria(Madrid),

Jefff Allen(Cairo)

エジプト側研究者

Alaa el-Habshi(Menufiya University),
Salah Zaki(Azhar University),
Heidi Shalaby(NOUH),
Riham Arram(Cairo Governorate)
Muhammad Soliman(Ministry of A&T)

エジプト側日本人参加者

アリス 深見奈緒子(JSPSカイロセンター)、 柏木裕之(太陽の船、東日本国際大学)、 檜山元一郎(カイロ小児病院PR、日本設計)

エジプト行政側参加機関

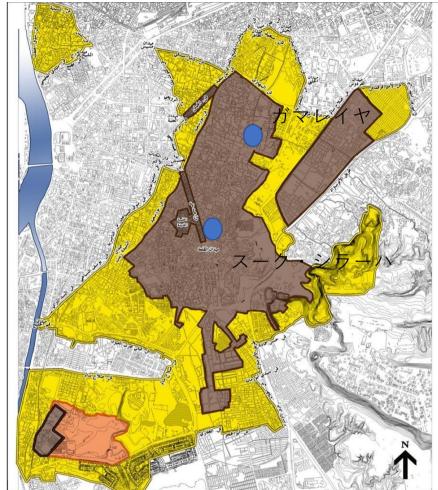
National Organization of Urban
Heritage under Ministry of
Culture, Heritage Section of Cairo
Governorate, Ministry of
Tourism and Antiquities



10月7日 審査の結果「採択」

3.10月からの経緯

- 10月9日 Salahと相談、カイロにて柏木、檜山、深見
 - →ガマレイヤ地区を提案される、NOUHによるカイロ旧市街の建築規定を入手、翻訳、軍の建築家との協力
- 10月10日 プロジェクト・メンバーとのzoomミーティング(連、荒牧、磯野、宍戸、深見)
- 10月11日 ドイツ考古学研究所メンバーと文化庁プロジェクトに付いてミーティング(Mustafa,Eman,深見)
- 10月13日 ガマレイヤ地区を訪問(Salah、柏木、檜山、深見)動画撮影、Alaaとの相談
- 10月14日 連、磯野、深見でzoomミーティング
- **10月15日 ユネスコ**の高橋氏と面談、ユネスコのカイロプロジェクトについて
- 10月18日 文化庁との打ち合わせ(文化庁の皆さま、連、深見)
- 10月19日 連、磯野、深見でzoomミーティング
- 10月20日 **ドイツ考古学研究所**を訪問してガマレイヤ地区の情報収集(Mustafa,Eman,深見)
- 10月25日 プロジェクト・メンバーとのzoomミーティング(連、荒牧、磯野、宍戸、深見)
- 10月27日 Salah、アズハル大学建築学科学生との旧市街に関するミーティング
- 11月3日 Salah、檜山、深見でユネスコ事務所を訪問、高橋氏とミーティング、エジプトとユネスコとのすれ違い
- 11月4日 Salah、檜山、深見でミーティング、**NOUHとの協力**
- 11月7日 Salah、連、檜山、宍戸、柏木、荒牧、岡田、深見でzoomミーティング
- 11月10日 Salah氏ガマレイヤプロジェクトの翻訳
- 11月17日 Salah、ユネスコ(高橋、アーリヤ)、檜山、深見で**NOUH事務所を訪問**、Abou Sa'ada氏と面談、**スーク・シラーハの提案**
- 11月18日 Salahと相談、NOUH協力要請レター、外務省許可レターの執筆、NOUHスーク・シラーハ・プロジェクトの翻訳
- 11月24日 プロジェクト・メンバーとのzoomミーティング(連、岡田、檜山、布野、松村、宍戸、深見)
- 11月25日 文化庁と契約、Alaaとzoomミーティング、Salah、檜山、深見でスーク・シラーハの訪問
- 11月29日 外務省宛レターの修正と提出
- 12月2日 檜山、深見でユネスコ事務所を訪問、無形文化遺産、高橋、サマー(ユネスコ)、リハーム Salah、深見でスーク・シラーハの訪問
- 12月8日 プロジェクト・メンバーとのzoomミーティング(連、岡田、磯野、荒牧、布野、松村、宍戸、深見) 柏木、檜山、深見でミーティング
- 12月17日 柏木、檜山、深見でスーク・シラーハの調査
- 12月20日 Salah氏、Alaa氏、深見のミーティング、住民とのワークショップの日時決定



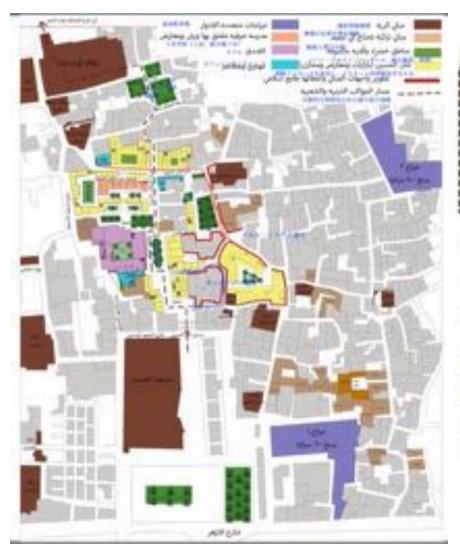


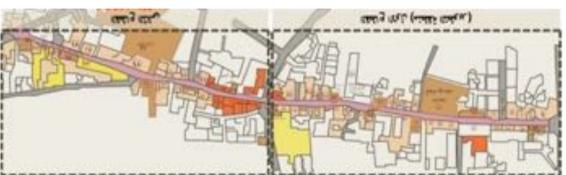
2008年法律第119号とその執行規則に従い「国家都市整備局」によって承認された歴史的なカイロ地域の境界と条件 2011

- 1.歴史的カイロの境界
- 2.一般的要件
- 3.都市組成
- 4.建物の解体と再建
- 5.建築上の特徴
- 6.新たな建築 高さ、仕上げ、突出部
- 7.2006年法律第144号に従って登録された既存建築 レベルA、B、C
- 8. 既存未登録の建築
- 9.修復、改修、再建
- 10.用途と活用
- 11.店舗ファサード
- 12.植栽
- 13.歩道と道路
- 14.照明
- 15.歴史的カイロとヘディーブカイロの重複エリア
- 16.手続き上の要件

せっかくの指針が使われていない状況 全てが特例状況**→** もう少しわかりやすく図示するようにして活用を図る

ガマレイヤ と スーク・シラーハ Salah氏の保全案 NOUHの保全案

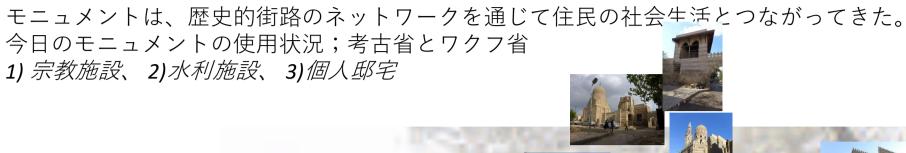


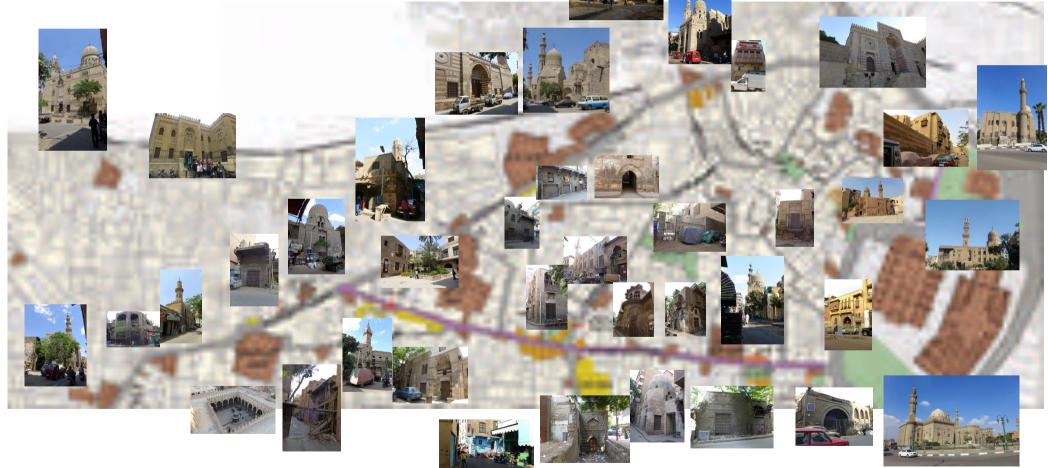






→通りのファサードだけでなく、背後の都市組成への注目 →歩行者専用にする場合の広域の交通計画













upper left; sabil kuttab attached Ylgay Yusufi Mosque in 1373 . Middle; sabil kuttab of Hasan Agha Kokalian built in 1694

サビール・クッターブは、下層は給水施設、上階がコーラン学校として使われた。修理されたのちも施錠され、痛みが激しくなり、管理がゆきとどいていない。住民たちは、活用を望んでおり、女性の集まる場所、あるいは組合の事務所に使いたいという要望が聞き取れる2020年から2021年にかけて再び修復、施錠。





Hammam Amir Bashtak, *1341* 2007年までは使用されていたが政府により、営業停止、ゴミが集まる2020年に考古省が柵を設置







4つのサビー ル・クッター ブの活用



ハンマーム・バシュタークの活用









A:3回の行政への研修・ワークショップ

□目的:NOUHのコンサベーション案を、カイロのイスラム建築の良さの再認識と共に、日本の保存利活用や住民参加の情報を提供する中で、対話を通して、より良くすること。

基本的に押し付けではなく、日本側からの情報を材料に現地の方に考えていただく

※各回2時間の流れとして、日本側からの話(60分)→現地の方のグループディスカッション(40分)→グループからの発表(10分)→日本側からの講評・アドバイス(10分)

レクチャーののちに、カイロで参加しているアラー、サラー、深見などがファシリテーターとしてグループに入り、議論を進める

■第一回: 深見から伝統的イスラーム建築のあり方や価値・重要性について、

宍戸から伝統的喫茶店や公共的道路に人々がたむろする良さ、

→現地での話し合い内容:印象・感想と共に、既存・現状の良い点と問題点(課題)

■第二回: 荒牧から川越の歴史的まちなみ保存の仕組や制度と伝統建築の住民参加による現代的利用、

磯野からカフェやブティックホテルなどイスラム建築の現代的利用

→現地での話し合い内容:印象・感想と共に、保存利活用に必要な仕組みや制度と現代的利用の可能性

■第三回: 連から住民参加のまちづくりの制度と事例、建築での参加の事例紹介、

布野から学生作品を通してこのエリアのポテンシャルとNOUH案へのアドバイス

→現地での話し合い内容:印象・感想と共に、NOUH案に必要なものと住民参加の可能性

→外務省からの許可がまだ降りておらず、日程は未定

B:住民ワークショップ

バイト・ヤカン周辺の住民を集めてバイト・ヤカンにて開催、1月8日女性、1月9日男性、1時から4時

なるべく回数を増やして、住民の意見を聞く。住民とは、スーク・シラーハ全体を対象とするわけではなく、 トヨタ財団事業以来のバイトヤカン周辺に作られたコミュニティで、今回は男性と女性を別途考える。彼らの傾向として、男性は伝統的木工業従事者が中心で、女性は就学期の子供を抱える人が多い。 話し合う点、

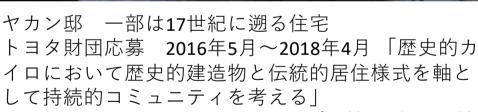
- 1) 今までのプロジェクトを振り返り、現在の問題点や良いところ、物語(無形遺産の収集)
- 2) サビール・クッターブなど現在利用されていない歴史的建造物の活用方法、特にサラーがツーリストインフォメーションセンターに提案しているマンジャク宮殿の使い方
- 3) スーク・シラーハに必要とされるインフラや施設等
- 4) みんなの思い描く未来のスーク・シラーハとは
- 5) 住民目線で木工業の組合の在り方
- 6) 実際の事業がどこから始めて欲しいか

日本人協力者および関心のある人にオンラインで公開、アラー氏、サラー氏、および調査協力者(イマード、ファーリス、ハーガル、ファーティマ;建築家)がファシリテーターとして参加

成果物としては住民から集めた情報、歴史情報を盛り込んだビジュアルな地図(アラビア語、英語)、ワークショップ自体の記録

エジプトの場合、日本の商工会や町内会のようなコミュニテイがないので、コミュニティ概念自体が異なる。 住民ワークショップは、参加する人々が、面白そうだという意識を持つことが重要で、それがコミュニティ形成 にあたる。



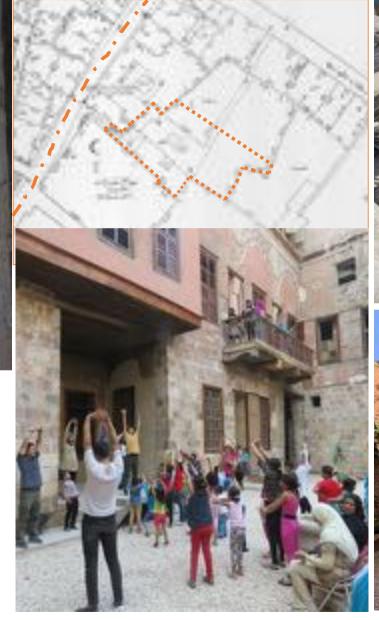


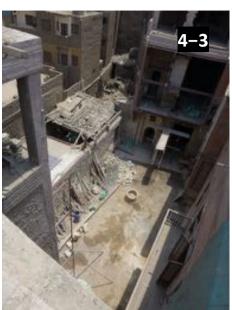
Alaa Habshi 29回のワークショップ女性+子供→男性 現在も草の根支援の職人訓練所の建設

Ola 主催の女性と子供のワークショップを持続中

WSを機に、コミュニティ形成、みんなの場所

https://whc.unesco.org/en/canopy/cairo/









ハイブリッド型連鎖ワークショップでの配送時によく使っている機能・便利グッス (参 者)

20211215

あくまで参考としていたださ、ポイントの部分の状況が含れれば問題ないと考えて 実施してください。(仮格は日本での信格です)

1.712

Yeti Blue USB マイク (USB-A 端柄) 1万 8000 円程度

https://www.bluemin.com/ja-jp/products/yet/

ポイント。乗目性能とノイズキャンセリングが入っていて USBにて開助に繋がる利便性がある。 ノイズキャンセリングがついているので 会議マイクを使用しても程額上は附額ないことが多い。 保管に包を違う面がある。

2.webカメラ

B1

Logicool C0600 streamcam 2 万円程度

https://www.amazon.co.jp/stores/page/582D2157-AAF2-433 FODEBA53DA527haraya-O&visitul-2d57e4cd-d9c8-47f4-6bd-ya 5aaCf3b2ba96

ボイント_小さいが比較的高面質で推断可能、比較的広角 AI内級で自動フレーミンギしてくれます。

器質:フルドD

ズームなし (無料アプリで電子ズームで)

マイク年、服務:USB-C

ムオートフォーカスかついているのでピントが合いやすい

C:他の事業者との共催実務者研修・ワークショップ

行政担当者参加のため、外務省からの許可がおりていない現段階においては、まだ時期は決まっていない。オンラインレクチャーでの成果と住民ワークショップで得られた成果を基盤として、WMF、Agha Khan、Saving Heritage、UNESCO、ドイツ考古学研究所という他の組織と意見交換をしながら、検証していく。

もしも政府から許可が降りない場合には、上記組織と住民とのワークショップを開催。これに関しては、90年代にはそのような機会があったが、現在は情報交流の場がないことを、さまざまな組織から聴取済みで、歓迎すべきワークショップになることが期待される。事前に「スーク・シラーハコンサベーション方針及び、サビールの使い方とマンジャク宮殿のリノベ計画案」を作成し、それをプレゼンし、街歩きを行った上で、検証ディスカッションを行う。日本ともオンラインで繋ぐ。

HP の作成と、既存FaceBookの利用

布野の既往資料、写真、建物用途、階数、時代についての2017年の状況→現状との差異を検証 宍戸の既往資料、アフワ(伝統的喫茶店)と街角の小広場の分布、類型→街のポケット

Revitalization and Sustainability of Communities in Historic Cairo https://www.facebook.com/souqalsilah

現地調査

柏木、檜山、深見担当 12月17日から開始、12月24日、25日にも開催予定住民説明用のパンフレット

- 1) 利用状況(建物の有無)2) 建物状況(階数、入口)3) 古建築のチェック(石積み、持ち送り等)
- 4)公共建築、店舗、駐車場等の場合には書き込む 5)1軒ごとにファサード写真撮影



成果物の予定

スークシラーハの未来図(住民の意見を入れ込んで、サラー氏の事務所が作成)

NOUH発行の遺跡保存地区内における建築規定に関する小冊子に、イラストや写真を入れ込んでわかりやすくする(アラビア語、日本語)

NOUH発行のザマレク地区の有名人と建築物を結びつけた地図に倣い、スークシラーハの通り名の意味、歴史的建造物を寄進した人物像を入れ込んだ地図の作成(アラビア語、英語)

ArcGISに現状を落とし込んだ地図(調査成果の公開)



2008年法律第**119**号とその執行規則に従い「国家都市整備局」によって承認された 歴史的なカイロ地域の境界と条件 **2011**

1. 歴史的カイロの境界

歴史的カイロには、2009年7月29日に首相が議長を務める決議第04/07/09/8号により、NOUHによって承認された制限に従い、国家都市整備局によって定義された地域が含まれる。

1-1境界の記述

境界は添付のマップに示され、次のとおり。

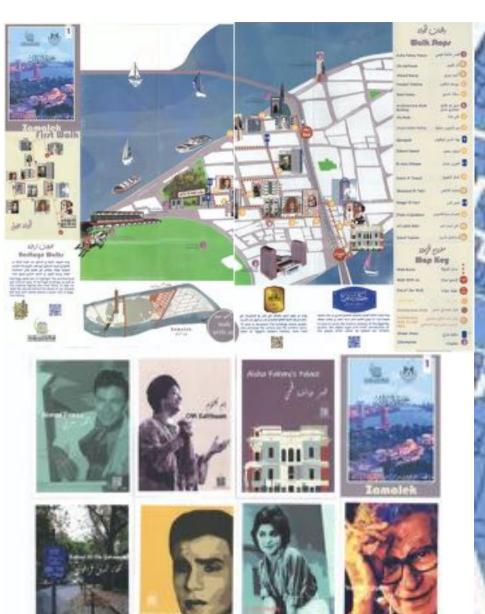
1-2 保存範囲

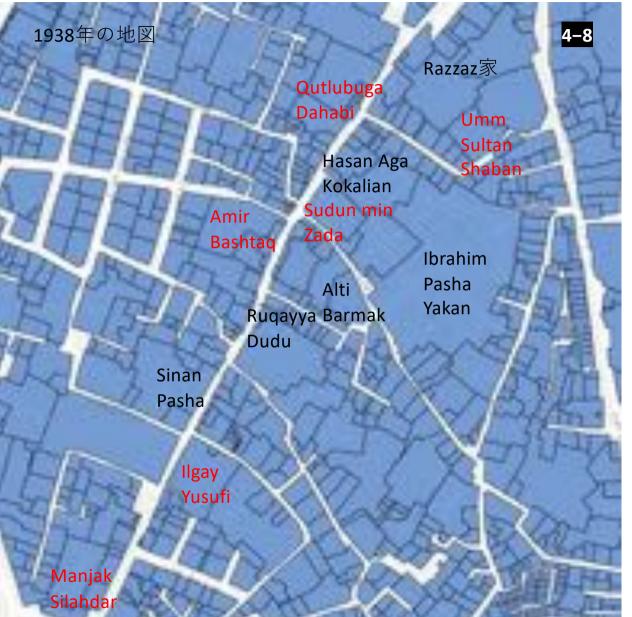
これらの制限には、次の3つの保存領域が含まれる。ゾーンA(Khedive Cairoとの重複区域を含む)、ゾーンB、ゾーンCを添付の地図に示す。

1-3記載される要件は、上記区域に指定されるすべての道路の両側に適用。ゾーンAの要件は、指定されたすべての道路両側に適用。

2.一般的要件

2-1 2008年法律第119号の都市調整のパート2およびその執行規則による-明確な価値のある地域に関連する法律、第2章第33条: ・保存価値の高い地域は、政府機関の提案に基づき、当該地域を保護するために設定された条件に従って決定され、国家都市整備局によって決定が下される。建設、変更は許可されない。建設、改造、上部増築、修復、またはいかなる建造物やプロジェクトで固定または移動、または一時的または永続的な占有はできない。管轄の行政当局から許可取得後を除き、法律の前段で言及した地域の公共都市空間で建築要素、彫像、彫刻、装飾を移動または移設することはできない。国家都市整備局の決定によりいくつかの分野で承認を得る必要がある。





The residents' decisions in the last stage of TOYOTA Project



Males made the Craftsman Union and they held exhibition of wooden carpentry.



Females learned handcraft and they made their works for the exhibition.

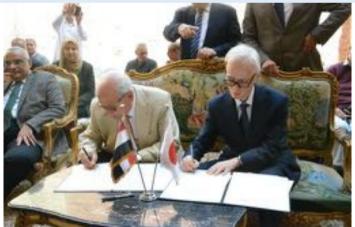


Children drew their dream for the exhibition, for what they want Bait Yakan, as library or playground.

After TOYOTA Project



Feb. 2019,Regenerating the crafts of Souq al-Silah Street through intellectual exchange between Japan and Egypt



Mar. 2019, Signing Ceremony of Grassroots project by Japanese Embassy in Egypt, Regenerating the Crafts of Souq al-Silah Street: Towards a Sustainable Heritage Development in Historic Cairo



Ola continues the workshops of children and women



都市遺産は誰のもの? 歴史や遺産への覚醒 住民参加のワー クショップ 多様な価値観 地方自治体 行政を巻き込ん だシンポジウム や展覧会 NGO 専門家 日本に蓄積され た住民参加の知 恵 • 近代化 • 公的空間 • 住民のアイ ●破壊 デンティ • 都市組成 前近代 未来 近現代 • 凍結保存 ティ (街路)と • 管理不行届 の連携 • 遺産の活用